

MULTI INFORMATION TIMER

マルチインフォメーションタイマー

MIT350 取扱説明書



Data System



2in1

DIGITAL SPEED METER / TACHO METER
with AUTO TURBO TIMER



MIT350

Multi-Information Timer



製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください

目次 / 仕様 / 各部の名称 / セット内容 / 取り付け時に用意していただくもの

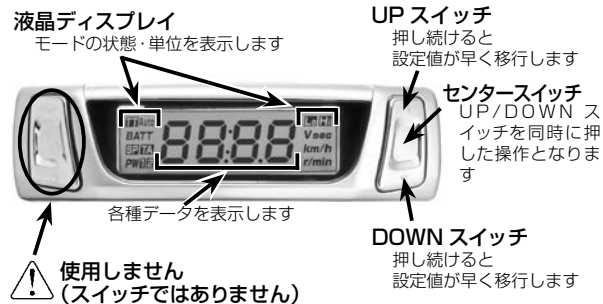
目次

目次 / 仕様 / 各部の名称 / セット内容 / 取り付け時に用意していただくもの	1
安全にお使いいただくために(必ずお読みください)	2 ~ 4
ご使用になる前に(必ずお読みください)	5 ~ 6
各機能と表示について	7 ~ 10
操作方法及び機能選択方法	11 ~ 12
各機能設定 / 使用方法	13 ~ 26
初期設定方法	27 ~ 31
リセットスイッチについて	32
初期値 (出荷時の設定値) 一覧	32
取り付け方法	33 ~ 34
MIT350 Q&A	裏表紙

仕様

- 本体カラー：メタリックシルバー
- 本体重量：約 200g (付属品は除く)
- 本体材質：耐熱 ABS 樹脂
- 本体サイズ：W85.7mm × D82mm × H24mm (1/4DIN サイズ)
- モニター：LED2 色バックライト付液晶ディスプレイ

各部の名称



セット内容

- 延長コード (灰色 / 緑色 / 橙色 / 黄色 各約 4m)
- 取付ステー 1 個
- 両面テープ 2 枚
- エレクトロタップ 4 個
- 結束バンド 1 本
- 取扱説明書
- エンジンコンピューター一覧表
- ユーザー保証登録カード / 保証書
- 検査依頼用紙

取り付け時に用意していただくもの

- 当社製ターボタイマー用車種別専用ハーネス
- 工具一式
- ビニールテープ
- サーキットテスター

※ お取り付けになる車種により、その他の部品が必要になる場合があります。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

- ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守り下さい。また、本取扱説明書に記載されていること以外を行なわないで下さい。思わぬ事故を引き起こしたり、火災や故障の原因になります。
- 本取扱説明書は大切に保管してください。

本書では注意事項の定義を次のように示しています

危険... 守らないと身体や財産に重大な被害が発生する可能性が高いもの

注意... 守らないと車及び製品を破損、または故障させるおそれがあるもの

警告... 守らないと法律に違反するおそれがあるもの

重要... 本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

危険

- 運転者が本製品の操作を行なう場合は、必ず安全な場所に車を停止させてから行なってください。
- 本製品はサーキット等での使用を目的とした機能を搭載しています。これらの機能については公道では絶対に使用しないでください。本製品を使用して発生した事故、車両の故障・破損等について一切責任を負いません。

ターボタイマー機能について

- 車の近くに燃えやすいものがあるときは、絶対に使用しないでください。火災の恐れがあります。
- 屋内、ガレージ、立体駐車場等の換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。排気ガスが充満して大変危険です。
- 車にボディーカバーをかけたまま使用しないでください。排気ガスが充満したり、火災の恐れがあります。
- 人 (特にお子様) を車内に乗せたまま使用しないでください。思わぬ事故の恐れがあります。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

警告

- 本製品は走行における危険行為やスピードの出しすぎを煽動するものではありません。公道を走行する際は交通規則を守り、安全運転を心掛けてください。

注意

- 本製品は国産 12V 車専用です。24V 車及び外車へは取り付けできません。
- 取扱説明書に記載されている以外の使用、取り付け、乱暴なスイッチの操作等は行わないでください。故障の原因になります。
- 本体を直射日光の当たる場所やエアコン吹き出し口付近の温度が極端に変化する場所、熱のこもる場所には設置しないで下さい。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要です。取り付けを誤りますと車両及び本製品の故障・破損等の原因となりますので、販売店や整備工場等に作業を依頼してください。
- 本体裏面に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

ATTENTION

このシールは絶対に剥がさないでください。万一、シールを剥がしたり、本体を分解された場合は、一切の保証は無効となります。

封印シール

重要

ターボタイマー機能について

- リモコンドアロック装着車は、本製品でアイドリング中はリモコンドアロックシステムが正常に作動しない場合があります。そのような場合はキーでドアを施錠、開錠してください。
- ディーゼル車の場合、エンジンが暖気されるまでターボタイマーが作動しない場合がありますが、故障ではありませんのでご注意ください。

ディーゼル車の場合、エンジン始動後にグローインジケーターが消えても水温が所定の温度になるまでグロープラグに電圧を加え、エンジンを暖気して動作をスムーズにするアフターグロー機能が装備されています。車種によってはアフターグロー中の消費電力が多く電源電圧が不安定になり、ターボタイマー作動タイミングが取りにくくなるため、ターボタイマーが作動しない場合があります。

デジタルメーター機能について

- パワーの数値は、限られた条件下での理論値であり、必ずしも実際の出力と一致するわけではありません。
- 初期設定で間違った値を入力した場合、全てのモードの計測値は不正確なものとなります。
- 計測データは道路の状況によって誤差が生じる場合があります。
- 本製品のスピードリミッター解除機能は速度信号を処理する方式です。車種によっては解除出来ない場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ ご使用になる前に

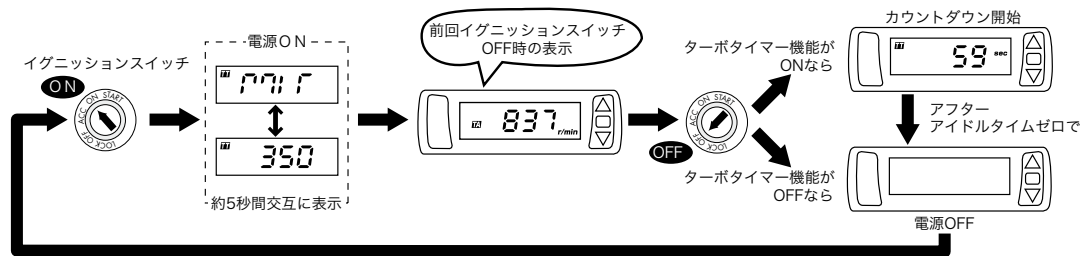
！ 必ずお読みください ！

●初めてご使用になるとき（スリープ機能の解除）

本製品はイグニッションスイッチ ON の位置で自動的に電源が入りますが、動作・表示を一切行なわないスリープ機能を備えています。お取り付け後、**初めてイグニッションスイッチを ON にした場合はスリープ状態になりますので、スリープ機能を解除してからご使用ください。**（スリープ機能の設定 / 解除の方法については P.20 をご参照ください）

●基本的な操作について

- (1) 本製品はイグニッションスイッチを ON にすると自動的に電源が入ります（スリープ状態中を除く）。そのときの表示は基本的に前回イグニッションスイッチを OFF にしたときの表示 になります。イグニッションスイッチを OFF にすると自動的に電源が OFF になります。（ターボタイマー機能 ON 時はカウントダウン終了後）
- (2) 本製品はイグニッションスイッチを ON にすると「MIT」と「350」を約 5 秒間交互に表示します。この間本製品は一切の機能を致しません。



●お車に合った初期設定をおこなってください

本製品は様々な車種に装着できますが、個々の車種に合った初期設定を行なわないと正確な表示・機能を致しません。必ず装着された車種に合った初期設定を行なってからご使用ください。（初期設定方法については P.27 ~ をご参照ください）

●内部データはバッテリーを外してもクリアされません

本製品は設定データ及び計測データ全てがバッテリーを外してもクリアされないよう設計されていますので、バッテリーを外したり本製品を車両から取り外しても内部データはそのまま残ります。ただし、その後バッテリーの取り付け、または本製品を再接続後に初めてイグニッションスイッチを ON にした場合は動作・表示を一切行なわないスリープ状態になっています。（スリープ機能の設定 / 解除の方法については P.20 をご参照ください）

●設定データ及び計測データを一度に全てクリア（出荷時の状態）するには

内部データを全てクリアして出荷時の状態に戻したい場合は、初期設定モード（P.11 参照）から「リセット機能」（P.31 参照）を選択してください。

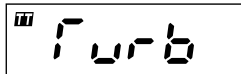
●スピード補正について

ホイール / タイヤのインチアップ等によって生じた、MIT350 のスピード表示の誤差を補正する機能で、スピードパルス出力を補正するものではありません。

各機能と表示について

ターボタイマー機能

機能設定 / 使用方法 P.13・14

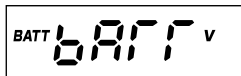


イグニッションスイッチ OFF 後、一定の時間(アフターアイドルタイム)アフターアイドルリングをおこないます。アフターアイドルタイムはオート、マニュアルの2通り選べます。オートを選ぶと5秒～10分(1秒単位)の範囲でMIT350が走行状況に合わせて自動的にアフターアイドルタイムを設定します。また、アフターアイドルタイムの増減割合を5段階で設定可能です。マニュアルを選ぶと0秒～10分(10秒単位)の範囲でユーザーが任意にアフターアイドルタイムを設定することができます。この機能はONにしておけば他のどのモード(スリープ状態中は除く)であっても動作します。もちろん機能のOFFも可能です。

また、パーキングブレーキと速度の安全機能を搭載していますので、ターボタイマー動作中にパーキングブレーキを解除するか、または走行した場合、強制的にターボタイマー動作を停止します。

バッテリー電圧表示機能

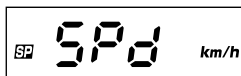
機能使用方法 P.15



バッテリーの電圧値(単位:V)をリアルタイムで表示します。また電圧異常警告機能により、イグニッションスイッチON時(エンジン始動中も含む)に電圧値が10V以下、または16V以上になると電圧異常警告表示をしてお知らせします。電圧異常警告機能は他のどのモード(スリープ状態中は除く)であっても動作します。

速度表示機能

機能設定 / 使用方法 P.16

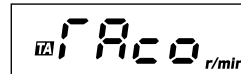


速度を0～399km/h(1km/h単位)の範囲でリアルタイムで表示します。過去最高速度については自動的に記録され、クリアしない限りそのまま残ります。また、速度警告設定をONにする事により、予め設定した速度60～180km/h(10km/h単位)を超えるとバックライトが赤く点滅します。(エンジン回転数の警告時に比べて遅い点滅速度となります)

※速度の警告とエンジン回転数の警告が重なった場合、バックライトは赤く点灯します。

エンジン回転数表示機能

機能設定 / 使用方法 P.17



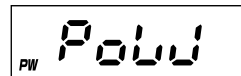
エンジン回転数を0～9999r/min(1r/min単位)の範囲でリアルタイムで表示します。過去最高回転数については自動的に記録され、クリアしない限りそのまま残ります。また、エンジン回転数警告設定をONにする事により、予め設定したエンジン回転数4000～9900r/min(100r/min単位)を超えるとバックライトが赤く点滅(※1)します(速度の警告時に比べて速い点滅速度となります)。オプションの外部警告ランプを装着すれば、バックライトの点滅に連動して外部警告ランプも点滅(※2)します。

※1 速度の警告とエンジン回転数の警告が重なった場合、バックライトは赤く点灯します。

※2 速度の警告とエンジン回転数の警告が重なった場合、外部警告ランプは点灯します。

パワー表示機能

機能設定 / 使用方法 P.18

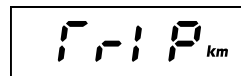


加速度、車両重量、空気抵抗等のデータを元に、走行中のパワーをリアルタイムで表示します。

※パワーの数値は限られた条件下の理論値であり、必ずしも実際の出力と一致するわけではありません。

トリップ表示機能

機能設定 / 使用方法 P.19

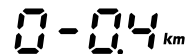


走行距離を0～999.9km(0.1km単位)の範囲で計測します。ツイントリップ機能により2区間の距離を同時計測できます。

各機能と表示について

発進加速計測機能

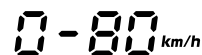
機能設定 / 使用方法 P.21・22



発進してから予め選択した距離に達するまでに要した時間を計測します。400m 以外にも 100・200・300・600・800・1000m の計測が可能です。走り出したと同時に計測を開始し、選択した距離に達すると自動的に計測を終了します。なお、1 分以上経過しても選択した距離に達しない場合、タイムアウトとなり計測を終了します。

中間加速計測機能

機能設定 / 使用方法 P.23・24



発進してから予め選択した速度に達するまでに要した時間を計測します。速度は 20・40・60・80・100・120・150・180km/h から選べます。走り出したと同時に計測を開始し、選択した速度に達すると自動的に計測を終了します。なお、1 分以上経過しても選択した速度に達しない場合、タイムアウトとなり計測を終了します。

ストップウォッチ機能

機能設定 / 使用方法 P.25



1/100 秒単位で最大 59 分 59 秒 99 まで計測可能です。

簡易セキュリティ機能

機能設定 / 使用方法 P.26



イグニッションスイッチ OFF 時にバックライトを一定間隔でフラッシュさせ、不審者に対して視覚的に盗難、イタズラを予防します。オプションの外部警告ランプを装着すれば、バックライトのフラッシュに連動して外部警告ランプもフラッシュします。機能を OFF にすることも可能です。

オイル交換時期お知らせ機能


機能設定 / 使用方法 P.29



予め設定した距離 3000～9900km (100km 単位) を超えると、「OIL」の点滅表示及びバックライトの赤点滅、ブザーによりお知らせします。このお知らせ機能は設定距離到達後も、累積距離をクリアしない限り 50km 走行毎にお知らせします。機能を OFF にすることも可能です。

スピードリミッター解除機能

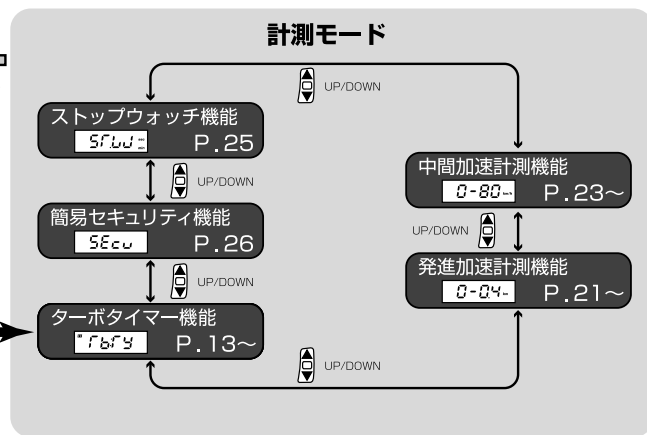
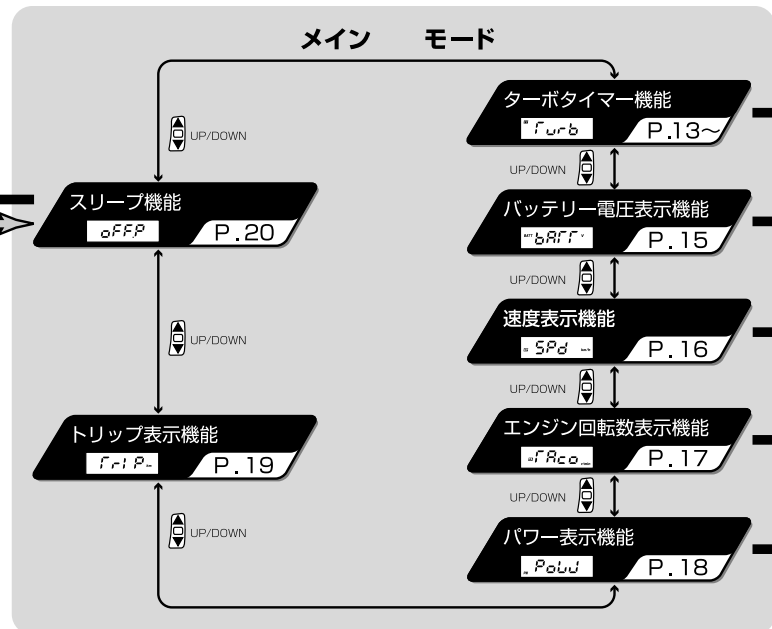
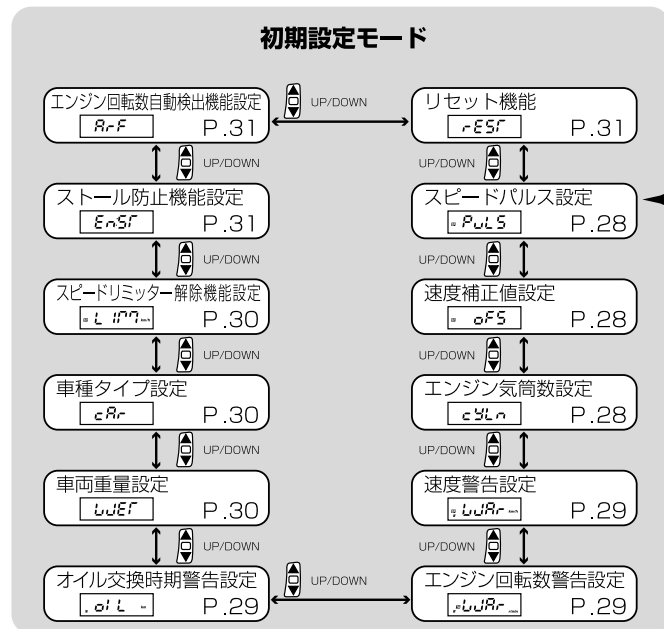
機能設定 / 使用方法 P.30



一定の速度 (軽自動車: 120km/h、普通車: 180km/h) を越えると作動するスピードリミッター機能を解除します。但し、この機能は一部の車種のみで、複数の速度信号がコンピューターに入力されている車種等には機能致しません。予めご了承ください。また、この機能を使用する場合と使用しない場合では接続方法が異なります。詳しくは P.33 への「取り付け方法」をご参照ください。

操作方法及び機能選択方法

本製品はメインモード・計測モード・初期設定モードの3つのモードがあります。
各モード内の表示切り替えについてはUPスイッチ及びDOWNスイッチを使用します。
メインモードから、計測モードまたは初期設定モードへ移行するにはセンタースイッチを使用します。

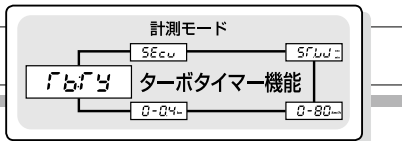


※1 初期設定モードに移行するには、メインモードのスリープ機能 (oFF.P) 表示からのみとなります。初期設定モードからメインモードに移行するには、初期設定モード内の表示であれば、センタースイッチを2秒以上押すことによりメインモードのスリープ機能表示に戻ります。

※2 計測モードへ移行するには、メインモード内の5つの機能からのみとなります。計測モードからメインモードへ移行するには、計測モード内の表示であれば、センタースイッチを2秒以上押すことによりメインモードに戻ります。その際は、計測モードへ移行する際に表示されていた機能へ自動的に移行します。また、計測モード中にイグニッションスイッチをOFFにした場合、その後イグニッションスイッチをONにした場合も同様に、メインモード内の機能に移行します。

ターボタイマー機能

機能設定 / 使用方法



マニュアルターボタイマー (例: 0 秒から 1 分 20 秒に設定する場合)

- 計測モードからターボタイマー機能設定を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
- センタースイッチを押すと現在の設定(オートまたはマニュアル)が表示されます。(初期設定はマニュアル)
- センタースイッチを押すと現在の設定時間が点滅します。(初期設定は 0 秒)
- UP スイッチ及び DOWN スイッチでアフターアイドルタイムを設定します。(10 秒単位で設定可)

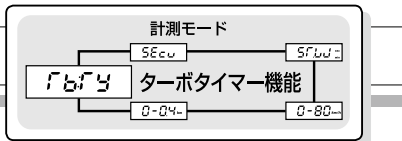
- 設定後、センタースイッチを押すと、設定完了し、計測モードに戻ります。

！ワンポイント

- ※ターボタイマー機能を OFF にする場合は、マニュアルを選択し、アフターアイドルタイムを「0」秒に設定してください。
- ※アフターアイドルタイム表示の際、秒表示時は「sec」、分表示時は「min」が点灯します。
- ※ターボタイマー機能が ON の場合、どのモードであってもイグニッションスイッチ OFF 後ターボタイマーが作動します。その際は自動的にカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ターボタイマー動作中は、カウントダウンに合わせてバックライトが青と赤、交互に点滅します。
- ※ターボタイマー動作中にパーキングブレーキを解除した場合は強制的にエンジンを停止します。
パニックアラーム + 表示
- ※ターボタイマー動作中に走行した場合は強制的にエンジンを停止します。
パニックアラーム + 表示
- ※ターボタイマー動作中に UP/DOWN スイッチを押すことによってアフターアイドルタイムの増減が可能です(10 秒単位)。また、ターボタイマー動作中にセンタースイッチを押すと、強制的にターボタイマー動作を停止します。
- ※マニュアルターボタイマーに限り、メインモードのターボタイマー表示中にアフターアイドルタイムを設定変更することが可能です。設定方法は左記③+④となります。

ターボタイマー機能

機能設定 / 使用方法

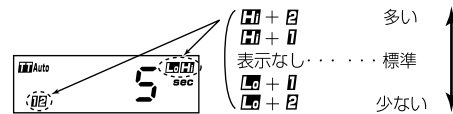


オートターボタイマー (例: アフターアイドルタイム増加割合を 1 番多く設定する場合)

- 計測モードからターボタイマー機能設定を選択します (P.11 ~ 12 参照)
- センタースイッチを押すと現在の設定(オートまたはマニュアル)が表示されます。(初期はマニュアル)
- UP/DOWN スイッチで「オート」を選択します。
- センタースイッチを押すと、現在のアフターアイドルタイムが表示されます。UP/DOWN スイッチでアフターアイドルタイムの増減割合を調整することができます。

- UP/DOWN スイッチで「Hi」と「2」を表示させます。
- センタースイッチを押すと設定完了し、計測モードに戻ります。

アフターアイドルタイムの増減割合表示

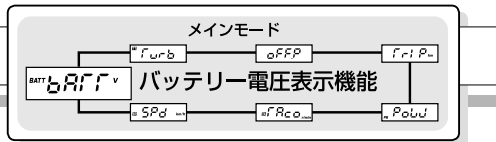


！ワンポイント

- ※ターボタイマー作動中にパーキングブレーキを解除した場合、走行した場合は強制的にエンジンを停止します。(詳しくは P.13 の「ワンポイント」をご参照ください)
- ※ターボタイマー動作中に UP/DOWN スイッチを押すことによってアフターアイドルタイムの増減が可能です。(10 秒単位)また、ターボタイマー動作中にセンタースイッチを押すと、強制的にターボタイマー動作を停止します。

バッテリー電圧表示機能

機能使用方法



使用方法



メインモードからバッテリー電圧表示機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)

3 秒間点滅表示後



現在のバッテリー電圧をリアルタイムで表示します。(0.1V 単位)

! ワンポイント

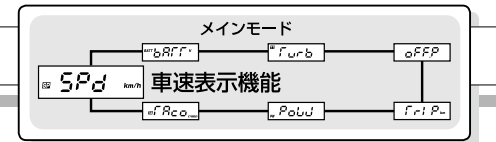
※バッテリー電圧が 10V 以下または 16V 以上になった場合、「W」が点滅すると共に、バックライトが赤く点滅して電圧異常をお知らせします。

例:



速度表示機能

機能設定 / 使用方法



使用方法

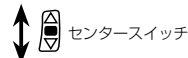


メインモードから速度表示機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)

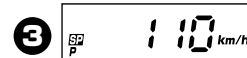
3 秒間点滅表示後



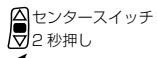
現在の速度をリアルタイムで表示します。(1km/h 単位)



センタースイッチ

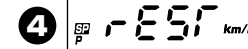


センタースイッチを押すと過去最高速度を表示します。過去最高速度表示中にセンタースイッチを押すと、速度表示に戻ります。



センタースイッチ
2 秒押し

(過去最高速度表示中はディスプレイ左下に「P」を表示します)

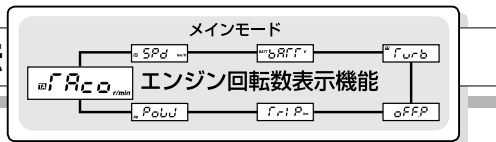


過去最高速度表示中に、センタースイッチを 2 秒以上押しすると、過去最高速度がクリアされ、速度表示に戻ります。

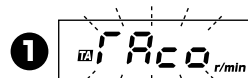
! ワンポイント

※速度警告設定を ON にしている場合、どのモードであっても設定した速度を超えている間バックライトが赤く点滅します。(速度警告設定については P.29 「初期設定方法・速度警告設定」をご参照ください)

エンジン回転数表示機能 機能設定 / 使用方法

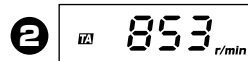


使用方法

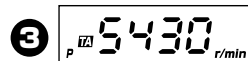
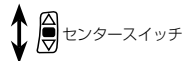


① メインモードからエンジン回転数表示機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)

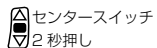
3 秒間点滅表示後



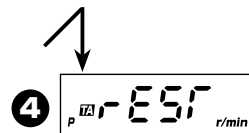
② 現在のエンジン回転数をリアルタイムで表示します。(1r/min 単位)



③ センタースイッチを押すと過去最高回転数を表示します。過去最高回転数表示中にセンタースイッチを押すと、エンジン回転数表示に戻ります。



(過去最高回転数表示中はディスプレイ左下に「P」を表示します)



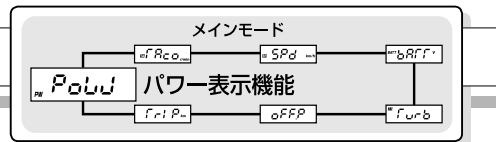
④ 過去最高回転数表示中に、センタースイッチを 2 秒以上押し、過去最高回転数がクリアされ、エンジン回転数表示に戻ります。

！ ワンポイント

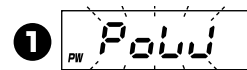
※エンジン回転数警告設定を ON にしている場合、どのモードであっても設定した回転数を超過している間バックライトが赤く点滅します。(エンジン回転数警告設定については P.29 「初期設定方法・エンジン回転数警告設定」をご参照ください)

パワー表示機能

機能使用方法

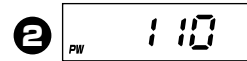


使用方法



① メインモードからパワー表示機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)

3 秒間点滅表示後



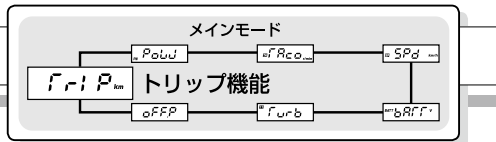
② 現在のパワーをリアルタイムで表示します。(1 単位)

！ ワンポイント

※パワー表示の数値は限られた条件下での理論値であり、必ずしも実際の出力と一致するわけではありません。
※パワー表示は加速度を元に算出した値となります。減速中や停車中に空ぶかしをしてもパワー表示は「0」となります。

トリップ表示機能

機能設定 / 使用方法



使用方法

- メインモードからトリップ表示機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
 - 3秒間点滅表示後
トリップ1を表示します。(0.1km単位)
 - センタースイッチ
トリップ2を交互に表示します。
- ※トリップ表示は2系統あります。センタースイッチを押すとトリップ1とトリップ2を交互に表示します。

！ ワンポイント
※累積表示をクリアする場合、クリアしたいトリップを表示させた状態でセンタースイッチを2秒以上押ししてください。

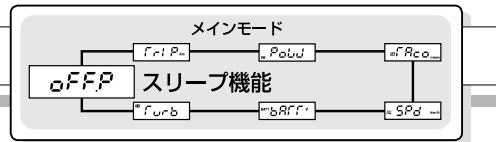
→ ||

センタースイッチ 2秒押し

→ ||

スリープ機能

設定 / 解除方法



設定方法

- メインモードからスリープ機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
- センタースイッチ 2秒押し
センタースイッチを2秒以上押しすと、バックライト及び表示が消灯し、スリープ状態になります。

！ ワンポイント

- ※スリープ状態中は一切の機能が停止します。スリープ機能を解除するにはセンタースイッチを押してください。
- ※スリープ状態にする際に、センタースイッチを押し続けた時間が2秒未満の場合、スリープ状態にはならず初期設定モードに移行します。(各モードの移行方法についてはP.11 ~ 12をご参照ください)

解除方法

- 電源ON
 → イグニッションスイッチをONにした状態で、スリープ中にセンタースイッチを押すと電源が入り、「MIT」と「350」を約5秒間交互に表示します。
 - センタースイッチ
自動的にメインモードのターボタイマー機能が選択されます。
- ※各モードの移行・各機能の選択方法についてはP.11 ~ 12をご参照ください。

発進加速計測機能

機能設定方法



設定方法

(例：0 - 400m から 0 - 800m に設定変更する場合)

- 計測モードから発進加速計測機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
- センタースイッチを押して「STAT」表示にします。
- 「STAT」表示中に UP/DOWN スイッチを押して「SET」表示にします。
- 「SET」表示中にセンタースイッチを押すと、それまで設定されていた数値が点滅します。(初期値は 400m)
- 計測したい距離を UP/DOWN スイッチで設定します。
100・200・300・400・600・800・1000m から選択できます。ここでは 800m に設定変更します。
- センタースイッチを押すと設定完了し、「SET」を表示します。
- 「SET」表示中に UP/DOWN スイッチを押して「STAT」表示にします。
- 「STAT」表示中にセンタースイッチを 2 秒以上押すと、発進加速計測機能表示 (1) に戻ります。設定した距離はそのままメモリーされ、計測モードの表示は設定した距離となります。

発進加速計測機能

機能使用方法



使用方法

(例：0 - 800m に設定してある場合)

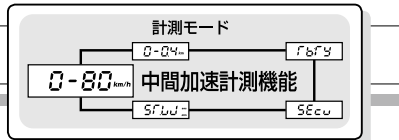
- 計測モードから発進加速計測機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
 - センタースイッチを押して、「STAT」表示にします。
 - センタースイッチを押すと「rEdy」表示となり、計測準備完了です。走行を開始してください。
 - 走行と同時に計測を開始します。
 - 設定距離に到達すると、自動的に計測を終了し、計測結果が点滅します。
 - センタースイッチを 2 秒以上押すと計測モードに戻ります。
- ※途中でキャンセルしたい場合は、センタースイッチを 2 秒以上押し続けてください。計測モード (1) に戻ります。

！ ワンポイント

- ※ 1/100 秒単位で計測します。
- ※ 計測は 59 秒 99 までです。1 分以上はタイムアウトとなります。タイムアウト後、センタースイッチを押すと (2) に戻ります。
- ※ 計測結果はメモリーされません。

中間加速計測機能

機能設定方法



設定方法

(例：0 - 80km/h から 0 - 150km/h に設定変更する場合)

- 計測モードから中間加速計測機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
- センタースイッチを押して「STAT」表示にします。
- 「STAT」表示中に UP/DOWN スイッチを押して「SET」表示にします。
- 「SET」表示中にセンタースイッチを押すと、それまで設定されていた数値が点滅します。(初期値は 80km/h)
- 計測したい速度を UP/DOWN スイッチで設定します。
20・40・60・80・100・120・150・180km/h から選択できます。ここでは 150km/h に設定変更します。
- センタースイッチを押すと設定完了し、「SET」を表示します。
- 「SET」表示中に UP/DOWN スイッチを押して「STAT」表示にします。
- 「STAT」表示中にセンタースイッチを 2 秒以上押すと、中間加速計測機能表示 (1) に戻ります。
設定した速度はそのままメモリーされ、計測モードの表示は設定した距離となります。

中間加速計測機能

機能使用方法



使用方法

(例：0 - 150km/h に設定してある場合)

- 計測モードから中間加速計測機能を選択します。(P.11 ~ 12 参照)
- センタースイッチを押して「STAT」表示にします。
- センタースイッチを押すと「rEdy」表示となり、計測準備完了です。走行を開始してください。
※途中でキャンセルしたい場合は、センタースイッチを 2 秒以上押し続けてください。計測モード (1) に戻ります。
- 走行と同時に計測を開始します。
- 設定速度に到達すると、自動的に計測を終了し、計測結果が点滅します。
- センタースイッチを 2 秒以上押すと計測モードに戻ります。

！ ワンポイント

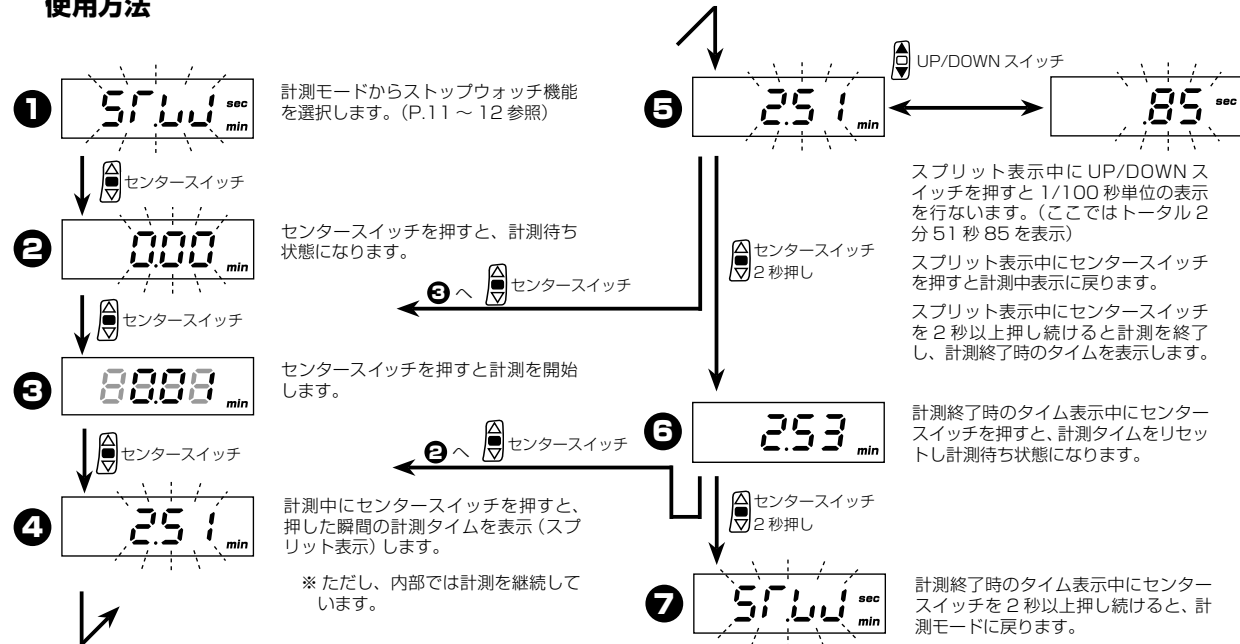
- ※ 1/100 秒単位で計測します。
- ※ 計測は 59 秒 99 までです。1 分以上はタイムアウトとなります。タイムアウト後、センタースイッチを押すと 2 へ戻ります。
- ※ 計測結果はメモリーされません。

ストップウォッチ機能

機能設定 / 使用方法

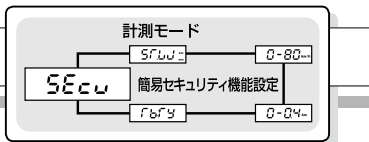


使用方法

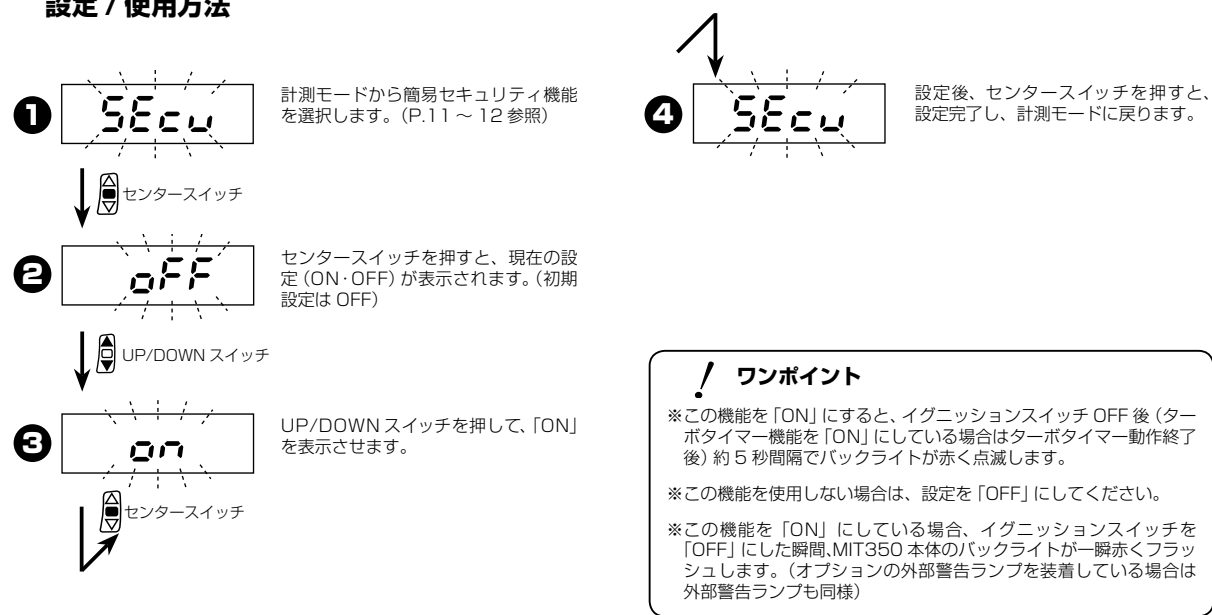


簡易セキュリティ機能

機能設定 / 使用方法



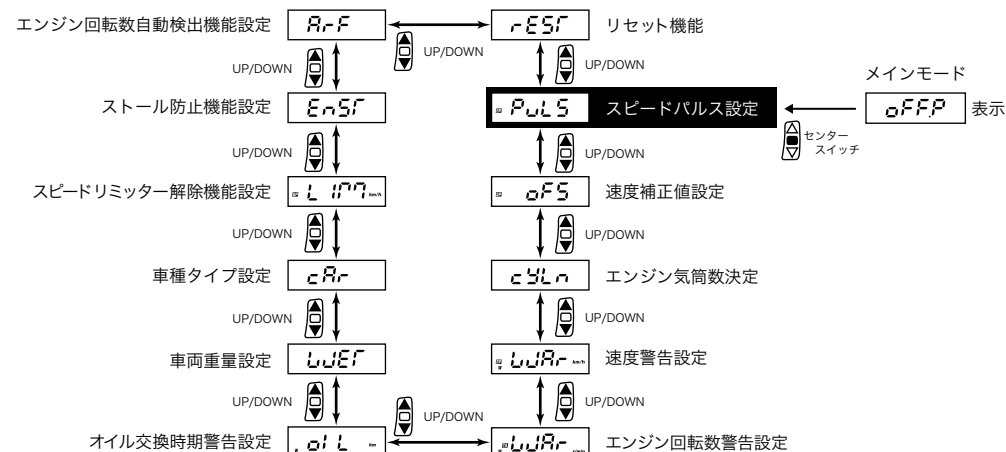
設定 / 使用方法



初期設定方法

ご使用前に必ずお車に合わせた初期設定をおこなってください。
間違った値が設定されていますと全ての表示及び計測値は不正確なものとなります。

- P. 11 ~ 12「操作方法及び機能選択方法」を参照の上、初期設定モードに移行します。このモードに移行する際、「cFG」を3回点滅表示し、その後「スピードパルス設定」表示になります。UPスイッチまたはDOWNスイッチを押すごとに各種設定項目が切り替わります。

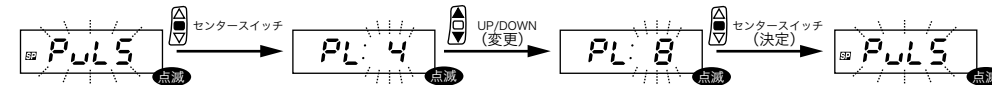


- 各種データの変更をおこないます。設定変更をおこなう項目表示中にセンタースイッチを押し、UPスイッチ及びDOWNスイッチで数値を変更します。変更後、センタースイッチを押して決定となります。

スピードパルス設定

スピードパルスを設定します。初期値は「4」です。「2」「4」「8」「16」のいずれかを選択します。
車両側スピードメーター表示速度と同じになるように設定してください。

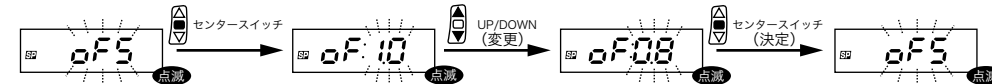
例：スピードパルスを「8」に設定する場合



速度補正值設定

速度表示を0.7倍～1.3倍に変更することができます。初期値は「1.0」です。
ホイールインチアップ等によりタイヤ外径が標準タイヤと異なっている場合に設定してください。

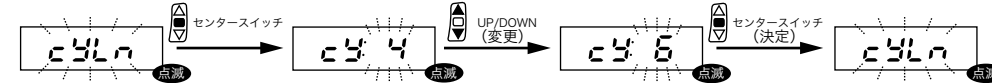
例：速度補正值を「0.8」に設定する場合



エンジン気筒数設定

エンジン気筒数を設定します。初期値は「4」です。「3」「4」「5」「6」「8」のいずれかを選択します。

例：エンジン気筒数を「6」に設定する場合



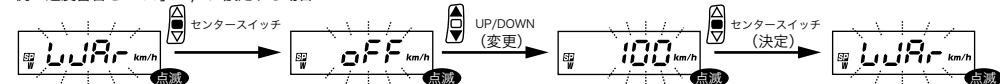
初期設定方法

SP **LUAR** km/h

速度警告設定

あらかじめ設定した速度を超えるとバックライトが赤く点滅してお知らせします。初期値は「OFF」です。「OFF」または「60～180」km/h (10km/h単位)のいずれかを選択します。「OFF」を選択すればこの機能は動作しません。速度(数値)を選択すると自動的に機能がONになります。

例：速度警告を「100」km/hに設定する場合

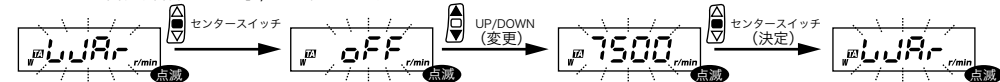


SP **LUAR** r/min

エンジン回転数警告設定

あらかじめ設定したエンジン回転数を超えるとバックライトが赤く点滅(オプションの外部警告ランプも同様)してお知らせします。初期値は「OFF」です。「OFF」または「4000～9900」r/min(100r/min単位)のいずれかを選択します。「OFF」を選択すればこの機能は動作しません。エンジン回転数(数値)を選択すると自動的に機能がONになります。

例：エンジン回転数警告を「7500」r/minに設定する場合

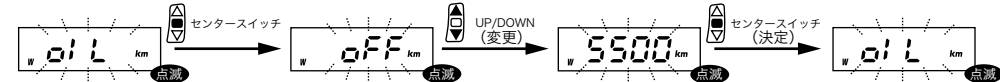


W **oil** km

オイル交換時期警告設定

あらかじめ設定した距離を超えるとバックライトの点滅およびブザーにてお知らせします。初期値は「OFF」です。「OFF」または「3000～9900」km (100km単位)のいずれかを選択できます。「OFF」を選択すればこの機能は動作しません。また、「OFF」に設定するとそれまでの累積距離がクリアされます。距離(数値)を選択すると自動的に機能がONになります。

例：オイル交換時期警告を「5500」kmに設定する場合



LUER

車両重量設定

車両重量を設定します。初期値は「1000」kgです。「300」kg～「2500」kg (10kg単位)で設定可能です。車検証に記載された「車両総重量」に運転手の体重を加えた重量を設定してください。この数値はパワー表示に必要です。

例：車検証に記載された車両総重量が1260kg、運転手の体重が60kgの場合(1260+60=1320 1320を設定)

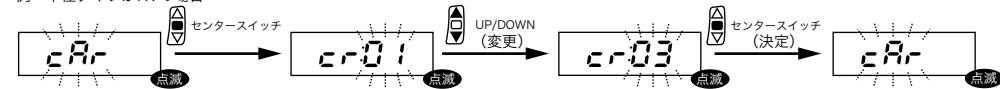


cAR

車種タイプ設定

車種のタイプを設定します。初期値は「01」です。スポーツカー「01」、セダン「02」、RVやワゴン「03」、1BOX「04」のいずれかを選択します。この設定はパワー表示に必要です。

例：車種タイプがRVの場合

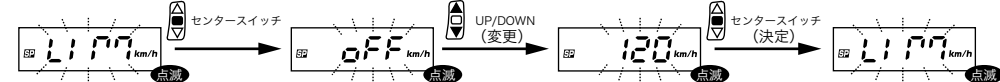


SP **LI 177** km/h

スピードリミッター解除機能設定

スピードリミッター機能を解除するかどうかを設定します。初期値は「OFF」です。ONにする場合、軽自動車は「120」km、軽自動車以外は「180」kmに設定してください。なお、この機能をONにしても、スピードリミッター機能が解除可能な車両で、かつ配線を「スピードリミッター解除接続」にしなければスピードリミッター機能は解除されません。

例：軽自動車でスピードリミッター解除機能をONにする場合

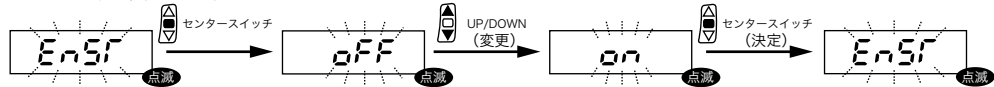


初期設定方法

EnSF ストール防止機能設定

ターボタイマー動作開始直後にエンジンがストール(停止)する場合にのみ「ON」にします。初期値は「OFF」です。通常またはターボタイマーを使用しない場合は「OFF」に設定してください。

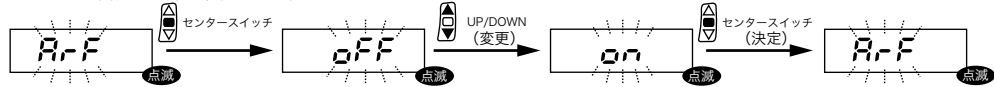
例：ストール防止機能をONに設定する場合



RrF エンジン回転数自動検出機能設定

ONにすることにより、エンジン回転信号線を接続せずにエンジン回転を検出できます。ただし、実際のエンジン回転数とは異なりますのでメーター用には使用できません。ターボタイマー機能のみ使用される場合に、オートターボタイマー用として使用できます(動作が安定しない場合はエンジン回転信号線の接続が必要です)。通常は「OFF」に設定してください。

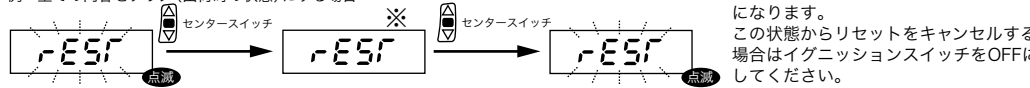
例：エンジン回転数自動検出機能をONに設定する場合



rESr リセット機能

この機能を実行すると、初期設定モードの内容および過去最高速度(スピード表示)・過去最高回転数(エンジン回転数表示)・累積距離(オイル交換時期警告用およびトリップ用)全てがクリアされ、出荷時の状態に戻ります。

例：全ての内容をクリア(出荷時の状態)にする場合



※この状態からはセンタースイッチしか受け付けられないため、必ずリセットすることになります。この状態からリセットをキャンセルする場合はイグニッションスイッチをOFFにしてください。

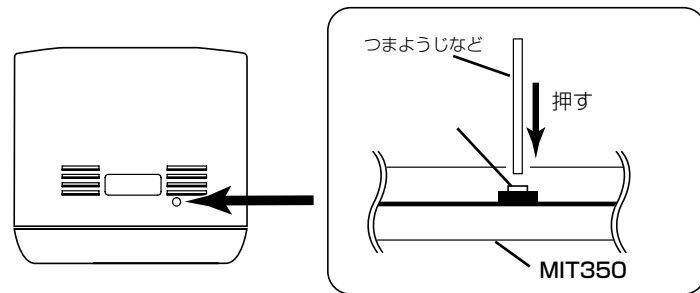
リセットスイッチについて/初期値(出荷時の設定値)一覧

リセットスイッチについて

リセットスイッチは、万が一説明書に記載のない文字表示やアラーム、ボタン操作を受け付けられないなどの症状が発生した場合など、このスイッチを押すことにより本機搭載のマイコンの動作を強制的に止めることができます。

※スイッチ操作後はスリープ状態になりますので、使用する場合はスリープ機能を解除してください。(スリープ機能の設定/解除の方法についてはP.20をご参照ください)

※リセットスイッチを押しても設定内容や記録内容は消去されません。設定内容、記録内容をリセット(消去)したい場合は初期設定モードのリセット操作を行ってください。



MIT350 裏面

横から見た図

※リセットスイッチを押す際は、必ずつまようじ等の金属以外の材質のものを使用し、本製品に対して垂直に差し込んでください。

初期値(出荷時の設定値)一覧

スピードパルス	SPULS	4	オイル交換時期警告	oil	OFF	エンジン回転数自動検出機能	RrF	OFF
速度補正	oFS	1.0	車両重量	WWEr	1000(kg)	簡易セキュリティ機能	SECU	OFF
エンジン気筒数	CYLn	4	車種タイプ	eRR	01 (スポーツカー)	ターボタイマーモード		マニュアル
速度警告	WWR _{kmh}	OFF	スピードリミッター解除機能	LlPn _{kmh}	OFF	ターボタイマー設定時間		0 (秒)
エンジン回転数警告	WR _{rpm}	OFF	ストール防止機能	EnSF	OFF	発進加速計測距離		400 (m)
						中間加速計測速度		80 (km/h)

MIT350 Q&A

Q1 電源が入らない。

- A1** スリープモードになっていませんか。(スリープモードについてはP.20をご参照ください)
- A2** アース線は確実に接続されていますか。
- A3** イグニッションスイッチをON(エンジンを始動)しましたか。

Q2 ターボタイマーが動作せずにエンジンが停止してしまう。

- A1** 「Pb: Er」表示がでる場合
パーキングブレーキ線を確実に接続していますか。
- A2** 「SP: Er」表示がでる場合
走行していませんか。スピードパルス線を間違った場所に接続していませんか。
- A3** ターボタイマー機能を「ON」にしていますか。
- A4** パーキングブレーキ線が確実に接続しており、かつターボタイマー機能を「ON」にしている場合、初期設定のストール防止機能を「ON」にしてください。(初期設定についてはP.27~をご参照ください)

Q3 燃調コントローラーや他のメーター類等との併用は可能ですか。

- A** 本製品はエンジンコンピューターから速度信号及びエンジン回転信号を取り出します。同じ信号線へ接続する必要のある他の製品と併用した場合、信号レベルが低下して正確に信号を読み取れなくなる場合があります。また、車両及び本製品・他の製品への不具合が発生する場合がありますので、併用はお避けください。

Q4 パワー表示と車両のカatalogに記載されているエンジン出力が一致しない。

- A** パワー表示は加速度を元にマイコンで演算した値を表示します。エンジンの軸出力を直接計測しているわけではありませんので、Catalogに記載されているエンジン出力とは一致いたしません。

Q5 どのような車両にも取り付けられますか。

- A** 基本的に国産12V車で、ターボタイマー用車種別専用ハーネスの設定がある車両なら取り付け可能です。ただし、以下の車両に取り付けた場合、一部の機能が使用できません。
- 速度信号及びエンジン回転信号が取れない車両。(ターボタイマー機能のみの使用は可能です)
 - 3・4・6・8気筒以外のエンジン搭載車。(ターボタイマー機能・スピードメーターに関する機能のみの使用は可能です)
 - 速度信号が2・4・8・16パルス以外の車両。(ターボタイマー機能・エンジン回転数に関する機能のみの使用は可能です)
 - 車両総重量が2500kgを超える車両。(パワー表示機能以外の機能は使用可能です)

Q6 社外品の外部警告ランプ取り付けできますか。

- A** 社外品は動作確認しておりませんので、当社製品をお取り付けください。

Q7 エンジンスターターと併用はできますか。

- A** MIT350のターボタイマー機能をOFFにすれば使用可能です。

Q8 ターボタイマーでアフターアイドル中にキーレスエントリーが作動しない。

- A** 車両側の制御によりキーレスエントリーでの解錠/施錠ができない場合があります。アフターアイドルリングが停止、または終了させてからキーレスエントリーを使用するか、お車のキーで施錠/解錠を行なってください。

Q9 スピード/回転数の表示が狂う

- A** パルス/気筒数設定を確認すると共にエンジンコンピューターの配線をご確認ください。また、アース線の接続位置など変更してみてください。

製品の仕様、価格及びデザインは改良の為予告なく変更する場合がありますが、ご了承ください。

MIT350-020802-YM-MB-6000

Data system

株式会社 データシステム

Homepage <http://www.datasystem.co.jp/>

- 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137(代)
■ 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617(代) FAX.086-440-1635

* e-parts はデザイン・クオリティ・テクノロジーすべてにおいて他を凌駕する。(株)データシステム製品を象徴するトレードマークです。* R-SPEC、及び R-SPEC ロゴはデータシステム社の登録商標です。